

(別添資料1)

事業所名

にじいろよつば 大谷口園

支援プログラム

作成日

2025 年

5 月

8 日

法人（事業所）理念		子どもも大人も「本来の姿でいられる場所」の提供 本来の自分でリラックスしていられる 自分軸で生きられる 自分を受け入れ、他者も受け入れ尊重できる場 そんな場所を提供していきます。					
支援方針		個別支援計画に基づき日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練、創作的な活動への指導、その他必要な支援を行います					
営業時間		9 時	0 分から	16 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり <div>なし</div>
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・毎日の健康管理に必要な対応を行います。子どもたちが出す小さなサインから心身の異変に気付けるよう、観察を行います。 ・食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身につけられるよう、時間での誘導や声かけを行います。 ・1日の流れやイベントの説明などは視覚支援を用いるなど、分かりやすい方法で伝え、不安なく過ごすことができるよう支援します					
	運動・感覚	・粗大運動（体づくり、ジャンプ、ボール遊び等）や微細運動（つかむ、ひっぱる、はめる、書く等）を通して基本的な動作の向上を目指します。 ・感覚過敏な子ども達に配慮した環境設定や、感覚の特性に合わせた支援を行います。					
	認知・行動	・色や数字など様々な興味関心の幅を広げられるような活動を提供します。 ・子ども達が認知、解釈しやすいように環境を整え、安心した気持ちで過ごすことができるよう支援します。 ・絵カードや実物での視覚的な支援（スケジュール掲示）や50音表、時計やタイマーを使用し、子ども達にわかりやすく事前予告や1日の流れを伝え見通しを持たせていきます。					
	言語 コミュニケーション	・絵カードやホワイトボードを使用したり、ジェスチャーなどのサインを用いて、言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援します。 ・支援者が子どもの気持ちを代弁しながら、場面にあった適切な言語を伝えていきます。少しずつ自分から気持ちが発信できるような機会を作り、自分の思いを相手に伝えられるよう支援します。 ・支援者が間に入りながら、活動を通して他者とのやり取りが経験できる場を提供します。					
	人間関係 社会性	・集団での活動を通して、ルールや順番を守りながら他者と楽しい時間を過ごせるよう支援します。 ・子ども達の思いに寄り添った声掛けや支援を行います。 ・他者と適切な距離感を保てるよう声掛けを行い、良好な関係を気付けるよう支援します。					
家族支援		・長時間預かることで、日々の育児負担の軽減に繋げられるよう支援をしていく。 ・家族が子どもの障害を受容し、子どもの成長 発達に向けて適切に関われるよう援助していく。 ・保護者同士の交流を通して、日々の育児や悩みを共有し、保護者一人一人の気持ちに寄り添っていく。				移行支援	小学校入学に向け、必要とされる支援内容等の情報提供による移行支援 保育所、幼稚園への移行支援
地域支援・地域連携		保育園園児との交流 保育所等訪問支援 関係機関との情報交換、担当者会議の実施				職員の質の向上	外部研修の実施 事業所内研修の実施 事業所内会議の実施
主な行事等		進級お祝い、夏祭り、ハロウィン・クリスマス会、お正月遊び、ひな祭り、お別れ会					